

。基本方針・規模

1 基本方針

社会資本整備重点計画の達成に向け、効果的かつ効率的な事業執行を本格的に推進しつつ、経済活性化、民需・雇用の創出、安全・安心な国土づくり、循環型社会の構築など、我が国にとって喫緊の課題に適切に対応し、『「速く」「安く」「安全で」力のみなぎるみなと』を次世代へ継承すべく、社会資本整備重点計画の4つの政策テーマに沿って重点的な投資を行い、国民のニーズに即した港湾施策の展開を目指す。

1 活力 ~ 国際競争力の強化と国民生活の質の向上に資する 海上輸送サービスの確保や産業空間の形成 ~

- ・我が国の国際競争力強化を図るため、スーパー中樞港湾プロジェクトの推進、国際海上コンテナターミナル及び国際幹線航路の整備等のハード・ソフト一体となった取組みにより、海上ハイウェイネットワークの形成を着実に推進する。
- ・改正SOLAS条約に対応し、港湾の保安レベルを国際的な水準にまで高め、国際物流ネットワークの信頼性確保を図る。
- ・我が国経済の活性化を図り、民需・雇用の創出に資するため、産業を物流面から支える国際・国内物流拠点の充実・強化を図る。
- ・世界の先進港湾を凌ぐサービス水準の実現を目指して、我が国港湾においてITを活用し、港湾関連諸手続きの利便性の更なる向上等を図る。
- ・民間需要の持続的創出を図り、活力のある我が国の創造に資するため、臨海部における都市再生を推進する。

2 環境 ~ 循環型社会の構築など環境問題への対応 ~

- ・循環型社会の形成を促進するため、港湾を活用した全国及び国際規模の効率的な静脈物流ネットワークの形成を推進するとともに、ひっ迫する廃棄物処理問題等に対応するため、廃棄物海面処分場の整備を推進する。
- ・豊かな生態系を育む自然環境の形成を図るため、NPOや地域住民などの多様な主体と連携しつつ、港湾における自然再生を推進する。
- ・閉鎖性海域における良好な水環境への改善等を図るため、汚泥の浚渫・覆砂、ダイオキシン類対策を行うとともに、沈没船対策を推進するなどの総合的な取組みを実施する。

3 安全 ~ 安全で安心な地域づくり ~

- ・東海、東南海・南海地震などの大規模地震等の災害から地域の生命・財産を護るため、防災機能の強化、防災拠点機能の提供を図る。

4 暮らし ~ みなとまちづくりの推進 ~

- ・個性を活かした地域の発展を着実に進めるため、住民や行政などの多様な主体の参加と連携のもと、海に開かれた「みなと」の資産を活用した「みなとまちづくり」を推進する。
- ・人々の移動や生活物資・地場産品の輸送等により地域の活力を支える海上交通に必要なターミナル機能の確保を、バリアフリー化を図りつつ着実に推進する。

2 予算(案)の規模

| 事業区分 | 費目 | 平成16年度予算(案) (A) | 平成15年度(当初) (B) | 対前年度比 (A)/(B) |
|----------|--------|--------------------|-------------------|------------------|
| 港湾整備事業 | 事業費 | 4,745億円 | 5,031億円 | 0.943 |
| | 国費 | 2,771億円 | 2,944億円 | 0.941 |
| | 財政投融资 | 27億円 | 9億円 | 2.929 |
| 港湾関係民活事業 | 事業費 | 465億円 | 512億円 | 0.909 |
| | 財政投融资 | 143億円 | 155億円 | 0.923 |
| 港湾関係起債事業 | 事業費 | 2,787億円 | 3,151億円 | 0.884 |
| | 起債額 | 2,982億円 | 2,641億円 | 1.129 |
| 合計 | 事業費 | 7,881億円 | 8,561億円 | 0.920 |
| | 国費 | 2,771億円 | 2,944億円 | 0.941 |
| | 財政投融资等 | 3,148億円 | 2,805億円 | 1.122 |

注1) 予算(案)には内閣府分を含む。

2) 港湾関係民活事業と港湾整備事業には、双方に計上されている事業費(平成16年度:117億円、平成15年度:132億円)、財政投融资(平成16年度:4億円、平成15年度:0.2億円)が含まれているため小計及び合計では重複分を除いている。

3) 港湾関係民活事業の財政投融资は要求額。

4) 港湾関係起債事業の起債額には、企業債元利金起債が含まれている。

5) 上記計数のほか、行政部費(非公共分)として国費(平成16年度:11億円、平成15年度:11億円)がある。

6) 合計は四捨五入の関係で一致しない場合がある。

3 重点事項の内訳

(単位:億円)

| 重点事項 | 平成16年度 予算(案) | 平成15年度 (当初) | 対 前年度比 |
|---|---------------------------|---------------------------|----------------|
| 1 活力 ~ 国際競争力の強化と国民生活の質の向上に資する海上輸送サービスの確保や産業空間の形成 ~ 我が国の経済活性化と民需・雇用の創出 (1) 我が国港湾の国際競争力の強化と国際物流ネットワークの信頼性の向上 (2) 民需・雇用や都市・地域活性化に資する基盤整備 (3) 港湾の効率的運営の実現 | 3,048 (1,925) 69.5% | 3,227 (2,050) 69.6% | 0.94 (0.94) |
| 2 環境 ~ 循環型社会の構築など環境問題への対応 ~ (1) みなとからはじまる循環型社会の形成 (2) 自然再生の推進・自然環境の活用 (3) 良好な水環境への改善 | 598 (206) 7.4% | 598 (196) 6.7% | 1.00 (1.05) |
| 3 安全 ~ 安全で安心な地域づくり ~ (1) 大規模災害に強い「みなと」づくり (2) 港湾の信頼性の向上 | 199 (105) 3.8% | 220 (120) 4.1% | 0.90 (0.88) |
| 4 暮らし ~ みなとまちづくりの推進 ~ (1) 美しく活力ある「みなと」づくりの推進 (2) 地域の活動を支える海上交通機能の向上とバリアフリー社会の形成等 | 901 (535) 19.3% | 985 (578) 19.6% | 0.91 (0.93) |
| 合計 | 4,745 (2,771) | 5,031 (2,944) | 0.94 (0.94) |

注1) 数値の上段は事業費、中段()内は国費、下段はシェアを記す。なお、シェアは国費ベースである。

2) 合計は四捨五入の関係で一致しない場合がある。